

地球温暖化対策率先行動(第1四半期)の取組み状況について

市役所では、地球温暖化対策に積極的に取り組むため、平成17年3月「佐渡市地球温暖化対策率先行動計画」を策定し、市役所の事務・事業活動に伴う温室効果ガスの把握・削減に取り組んでいます。

平成17年度第1四半期(4月～6月分)における状況について報告します。

温室効果ガス排出量 市役所の事務・事業活動に伴う温室効果ガス総排出量は、二酸化炭素換算で、17,741トンでした。(単位:kg)

区分	二酸化炭素	メタン	一酸化二窒素	ハイドロフルオロカーボン類	排出量 (二酸化炭素換算)
本庁管内	7,693,306	1,309	13,323	1.71	11,853,148
両津支所管内	100,487	3	3	0.79	102,507
相川支所管内	129,730	51	11	0.18	134,445
佐和田支所管内	2,977,587	75	13	0.37	2,983,673
新穂支所管内	554,451	3	3	0.42	555,990
畑野支所管内	628,337	1,780	2,566	0.28	1,461,541
真野支所管内	248,712	97	6	0.31	253,012
小木支所管内	69,853	188	247	0.48	150,995
羽茂支所管内	110,933	367	19	0.28	124,894
赤泊支所管内	72,112	45	4	0.30	74,687
消防署	41,910	47	5	0.80	45,487
合計	12,627,418	3,965	16,200	5.92	17,740,379

温室効果ガスは、6種類ですが、市役所では、排出量等を考慮し4種類(二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素・ハイドロフルオロカーボン類)を把握・削減対象としています。
温室効果ガスは、電気、ガス、重油、ガソリンなどのエネルギー使用量や廃棄物の処理量に伴い排出されます。

排出量の計算式(例)

電気使用に伴う二酸化炭素の排出量(kg)

第1四半期電気使用量(kwh)×排出係数=二酸化炭素の排出量(kg)

5,970,572 × 0.473 = 2,824,081

一般可燃物の焼却処理に伴う温室効果ガスの排出量

A 二酸化炭素の排出量(kg)

第1四半期廃プラスチック焼却量(t)×排出係数=二酸化炭素の排出量(kg)

93 × 2,680 = 249,240

古紙回収状況

市役所では、3R活動(発生抑制、再使用、リサイクル)の推進のため、「ごみ箱から古紙ゼロ運動」を実施し、古紙のリサイクルに努めています。

(単位:kg)

事務用紙	雑誌類	段ボール	チラシ	新聞	シュレッダー処理紙	合計
7,040	5,420	6,080	490	1,720	1,760	22,510

【取組みの効果】 約22トンの廃棄物の発生を抑制するとともに、再生資源としてリサイクルすることができました。

古紙を1トンリサイクルして資源とすると、緑の立木20本(直径14cm、高さ8m)に相当するといわれています。また、古紙を資源としてリサイクルすると、立木から紙を製造するときより、かなりのエネルギー削減につながります。

グリーン購入実施状況 市役所では、グリーン購入対象品目として141品目を設定し、環境に配慮した物品等の調達に取り組んでいます。

品目名	単位	調達総量	基準を満たす物品の調達量	グリーン調達率	調達目標
コピー用紙	kg	7,714.35	7,299.75	94.63%	100%
トイレットペーパー	kg	9,991.11	4,017.09	40.21%	100%
のり(テープ)	個	116	116	100.00%	100%
窓付き封筒(紙製)	枚	10,800	10,800	100.00%	100%
蛍光管	本	361	201	55.68%	70%
低公害車	台	7	7	100.00%	10台
印刷	件	17	9	52.94%	80%

【例】印刷

市役所における印刷については、環境に配慮し、古紙配合率の高い紙を使用するとともに、環境にやさしいインクを使用するよう努めています。また、環境に配慮した印刷を実施した場合、印刷物に下記の環境ラベル等を表示するとともに、概要等の説明文を記載しています。



古紙配合率
100%の紙



環境にやさしい
大豆油インキ使用

市役所では、今年度集計したデータを基に、温室効果ガス排出量等について、〔一部抜粋〕具体的な削減目標を定める地球温暖化対策実行計画の策定を行います。

